説明資料1

202●年●月●日

●●株式会社(提案者名) 　代表取締役

●●　●●

「ディープテック･スタートアップ支援基金／ディープテック･スタートアップ支援事業」／

「GX分野のディープテック・スタートアップに対する実用化研究開発・量産化実証支援事業」

への応募に係る要件確認に対する説明書

●●株式会社（以下、「提案者」という）は、ＮＥＤＯが実施する「ディープテック･スタートアップ支援基金／ディープテック･スタートアップ支援事業」／「GX分野のディープテック・スタートアップに対する実用化研究開発・量産化実証支援事業」（以下、「本事業」という）」への応募に際し、本事業の公募要領3．（1）に掲げられている「各フェーズ共通の要件」のうちⅹ.の要件（以下、「本要件」という）に関連して、事業会社からの出資の態様等について、下記のとおり説明します。

なお、下記につき、助成事業終了日までに変更が生じた場合は、速やかにＮＥＤＯに変更内容を報告します。

記

１．提案者と親会社等との経営の一体性について

提案者は、以下に記載する取締役や株主の構成等から、親会社等との間で経営の一体性を有していると認識しており、実質的な支配関係にあるものではないことから、本要件には抵触しないものと考えている。

＜提案者と親会社等の取締役や株主構成の状況＞（記載例）

* 親会社等と提案者の取締役名簿に記載の通り、両者の取締役には同一の人物が就いており、提案者における意思決定と親会社等における意思決定が、実質的に同一のものとみなすことができる蓋然性が高い。
* 提案者の株主名簿に記載の通り、親会社等が○○の持分比率で提案者の株式を保有しており、……
* なお、……（その他、本件の説明において必要な事項を適宜記載）

２．提案者とその出資者との関係について

　提案者は、××株式会社（以下、「親会社等」という）から、出資を受けているが、当該親会社等とは以下に記載する関係にある。

＜提案者と親会社等との関係＞（記載例）

* 親会社等は、○○の事業を行う事業会社であるが、／｛資金調達のための関連法人／提案者の代表取締役である●●●●の資産保有型会社／資産運用型会社｝であり、本事業の提案に係る主たる研究開発・事業は提案者が行う。
* 具体的には、親会社等の会社定款において、業務内容をXXXXXXと定めており……
* なお、……（その他、本件の説明において必要な事項を適宜記載）

３． 当該体制を採る理由について

親会社等及び提案者は、以下のような理由により、上記のような体制を採っている。

＜当該体制を採る理由＞（記載例）

* 親会社等は○○の事業を実施しているが、……との対応を行う必要があるため、……の理由により、提案者にて○○の開発を行うもの。
* 親会社等及び提案者は、事業のグローバル展開を見据え、現段階から海外VC等も含めた資金調達を志向している。その実現のためには、親会社等を○○に設立し、当地の……を活用することが必要となるもの。
* この体制を採ることにより、本事業の実施、及びその後の事業展開において、……との効果を見込んでいる。
* なお、……（その他、本件の説明において必要な事項を適宜記載）

４．親会社等からの提案者への送金手段や頻度等について（該当しない場合は削除）

親会社等は、資金調達のための関連法人／提案者の代表取締役である●●●●の資産保有型会社／資産運用型会社であり、本事業への応募に必要な資金調達も親会社等が行う。したがって、本事業の実施に際しては、親会社等は提案者に対し、XXXXXXXXXXXXの契約に基づき、出資／貸付／（その他）により、概ね○○○の頻度で送金している。

参考：添付資料

　親会社等の会社定款

提案者の会社定款

親会社等の取締役名簿

提案者の取締役名簿

親会社等の株主名簿

提案者の株主名簿

親会社の決算報告書（直近3年分）

親会社の資金繰り表（応募月から事業終了まで）

親会社等から提案者への資金配分方法を示す契約書等（該当しない場合は削除）

以上

本資料中、水色の文字で記載している箇所は、記載例に沿って適切な記載内容としていただき（あるいは、適切な選択肢を選んでいただき）、黒字にしてご提出ください。なお、提出時には、本テキストボックスも削除ください。